

※受信機・検出器・熱電対部・接続線のシステムは一括で販売し、専門施工店が担当しますので、安心・確実です。

地球環境に優しい商品づくりを積極的にすすめてまいります。

RoHS指令対応の取り組み

RoHS指令とは、2006年7月からヨーロッパで施行された、有害物質使用制限で、廃電気・電子機器のリサイクルを容易にするため、また、最終的に埋立てや焼却処分されるときに、ヒトと環境に影響を与えないように電気・電子機器に有害物質を非含有とさせることを目的として制定され、右に示す6種類の環境有害物質を含有した製品は、EU(欧州連合)では販売できないことと制定されております。

このRoHS指令に基づいて自社ブランドには右に示す6種類の環境有害物質を使用しない様、対応を順次進めております。

RoHS指令 禁止6物質

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① カドミウムおよび化合物 | ④ 水銀およびその化合物 |
| ② 鉛およびその化合物 | ⑤ 特定臭素系難燃剤 (PBB) |
| ③ 六価クロム化合物 | ⑥ 特定臭素系難燃剤 (PBDE) |

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の時に、「取扱説明書」「施工説明書」をよくお読みください。ご不明な点は弊社特約店または弊社営業所等へお問い合わせの上、正しくお使いください。
- このカタログに掲載の商品は、使用用途・場所等に限定があります。また、専門施工・点検が必要です。弊社特約店または弊社営業所等へお問い合わせください。

OKI 沖電気防災株式会社

ホームページ <http://www.okibo.co.jp/>

本社	TEL.(03)3456-8600(代)	FAX.(03)3456-8611
首都圏営業部	TEL.(03)3456-8601	北海道営業所 TEL.(011)551-2105
メンテナンス部	TEL.(03)3456-8603	東北支店 TEL.(022)261-7698
火報機器営業部	TEL.(03)3456-8606	東海支店 TEL.(052)221-7268
営業企画開発部	TEL.(03)3456-8608	関西支店 TEL.(06)6364-5400
福島営業所	TEL.(024)539-7509	四国支店 TEL.(087)835-3911
福島工場	TEL.(024)545-4061	九州支店 TEL.(092)431-8206

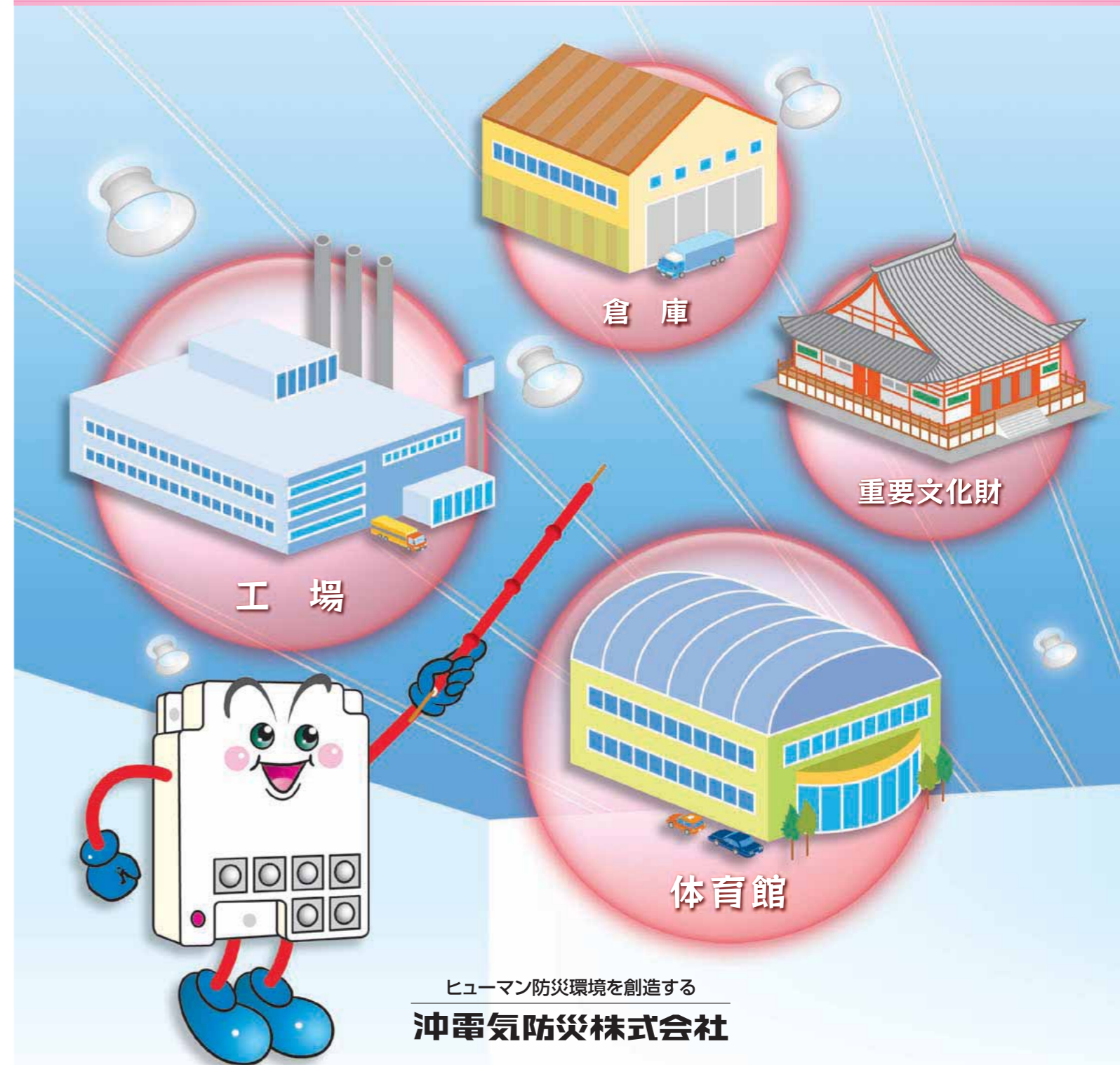
HUSEC-072-1004

●お求め・お問い合わせは…

このカタログの記載内容は2010年4月現在です。

「ヒューマン防災環境を創造する」

より安心、より快適な生活環境の実現に向け、日々、防災事業に取り組んでいます。



ヒューマン防災環境を創造する

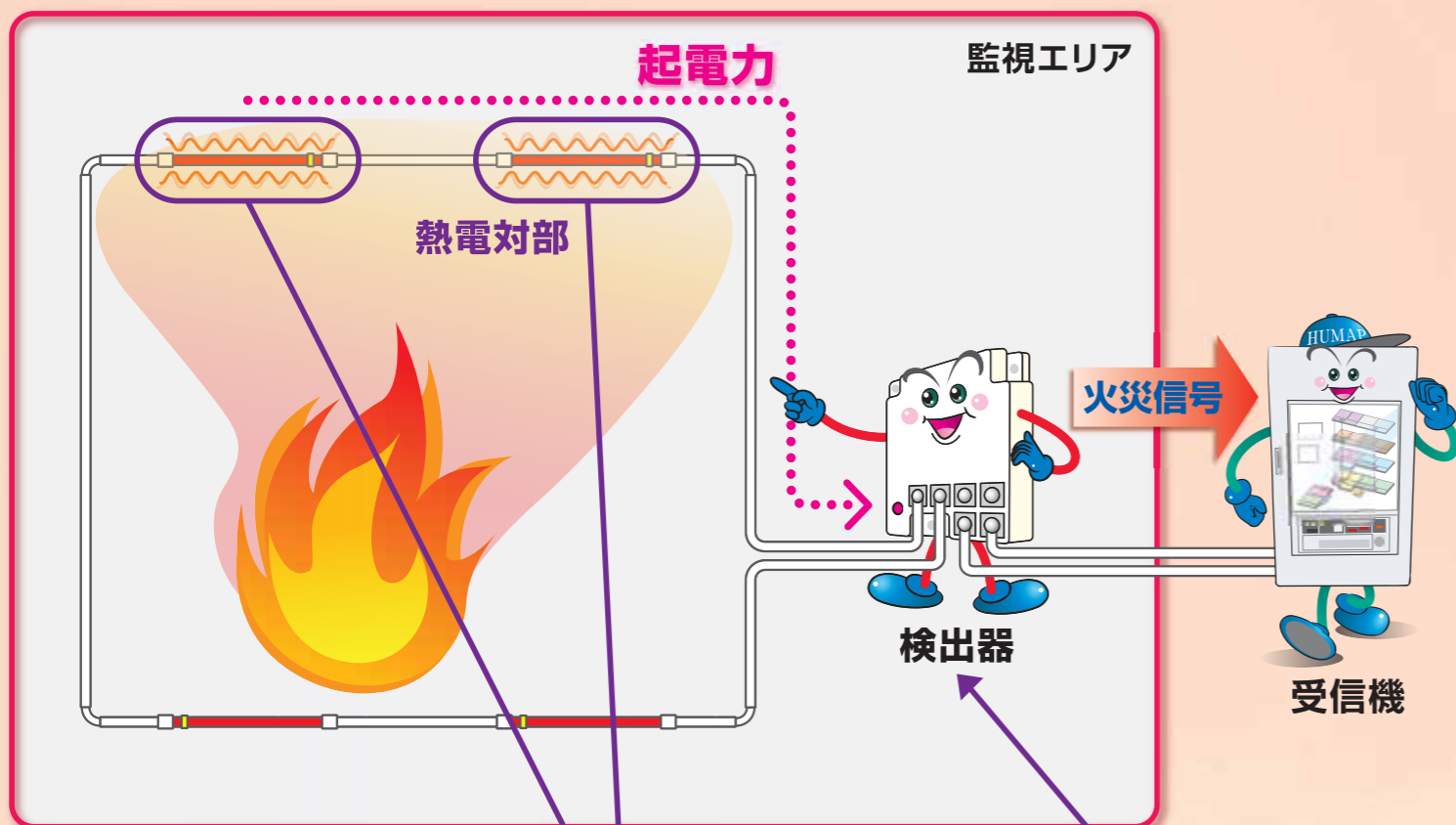
沖電気防災株式会社

ねつでんつい

差動式分布型感知器 熱電対式

監視面積の広いエリア、天井の高い建物の万一の火災を
確実に感知します。

分布型感知器 熱電対式のシステム基本構成



火災により、
温度が上昇

熱を感知した熱電対部が
ゼーベック効果[※]により
起電力を発生させます。



熱電対部

熱電対部が発生させた
起電力を検出器が受け
て受信機に信号を送り、
火災を知らせます。



検出器

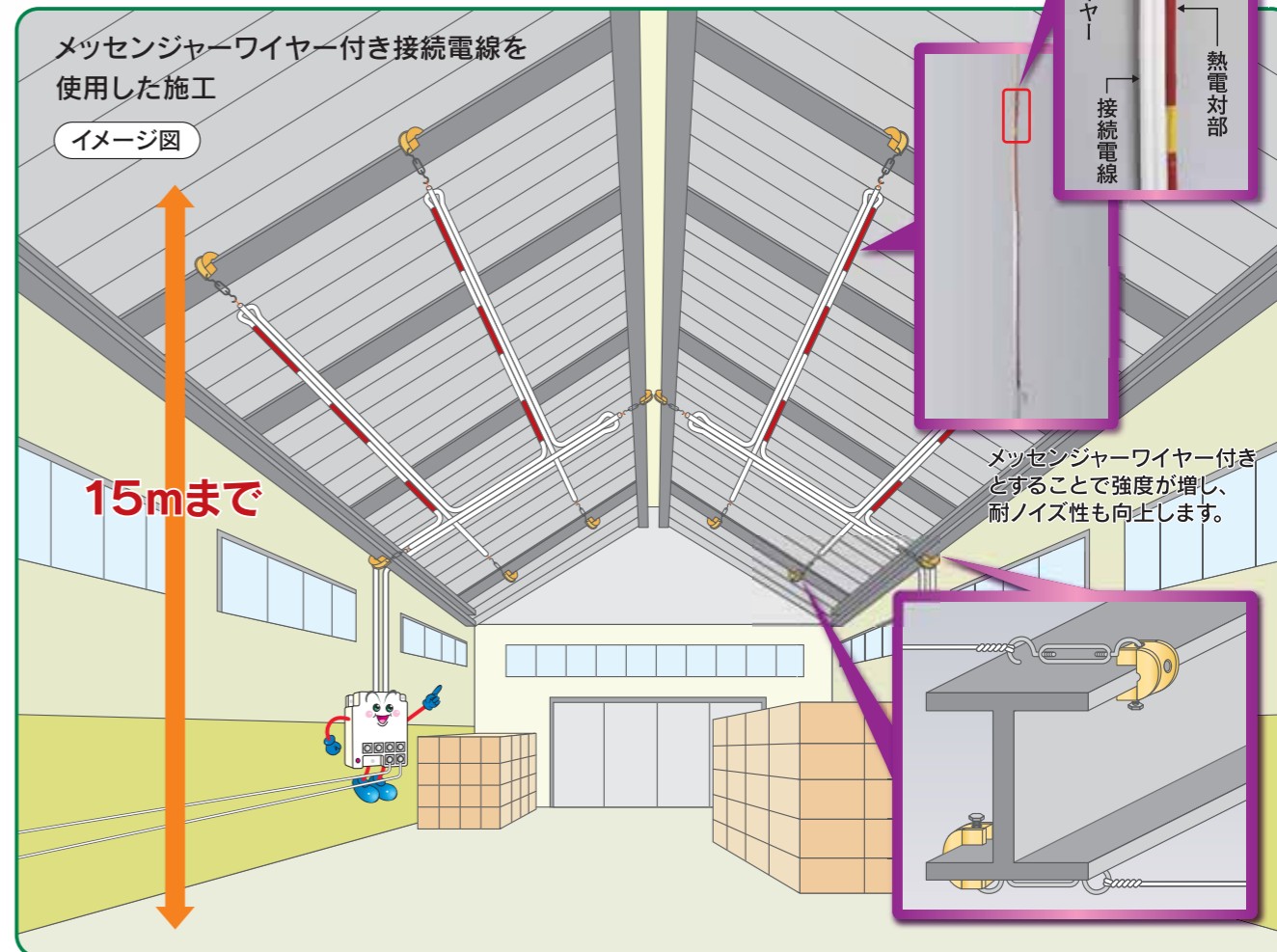
※ゼーベック効果とは

2つの異なる物質の金属線の両端を接続して、一方を過熱し、他方を冷却し温度差を与えると、回路に起電力が発生する原理で、熱電対式はその原理を火災感知器に応用したものです。

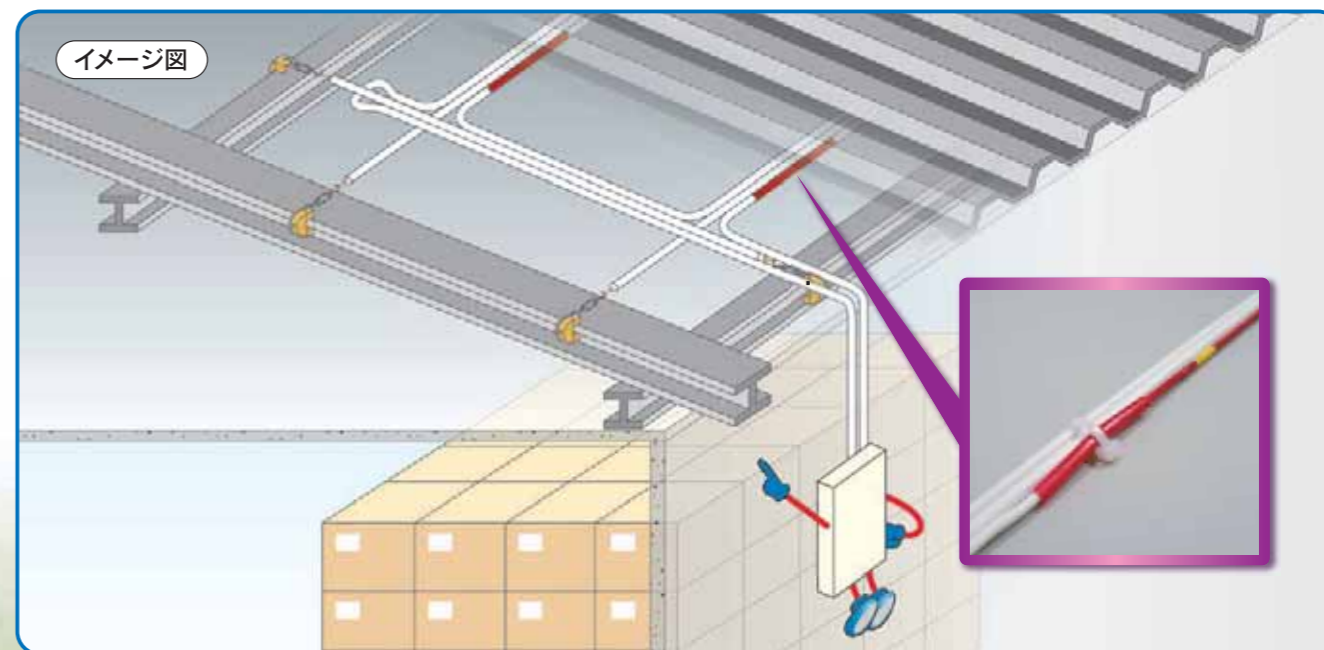
差動式分布型感知器 熱電対式の特長

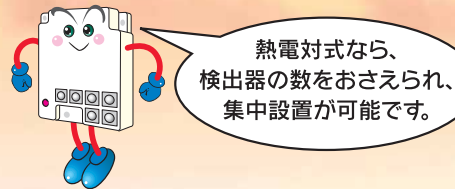
こんな場所に最適です。

工場や倉庫などの広いエリアに

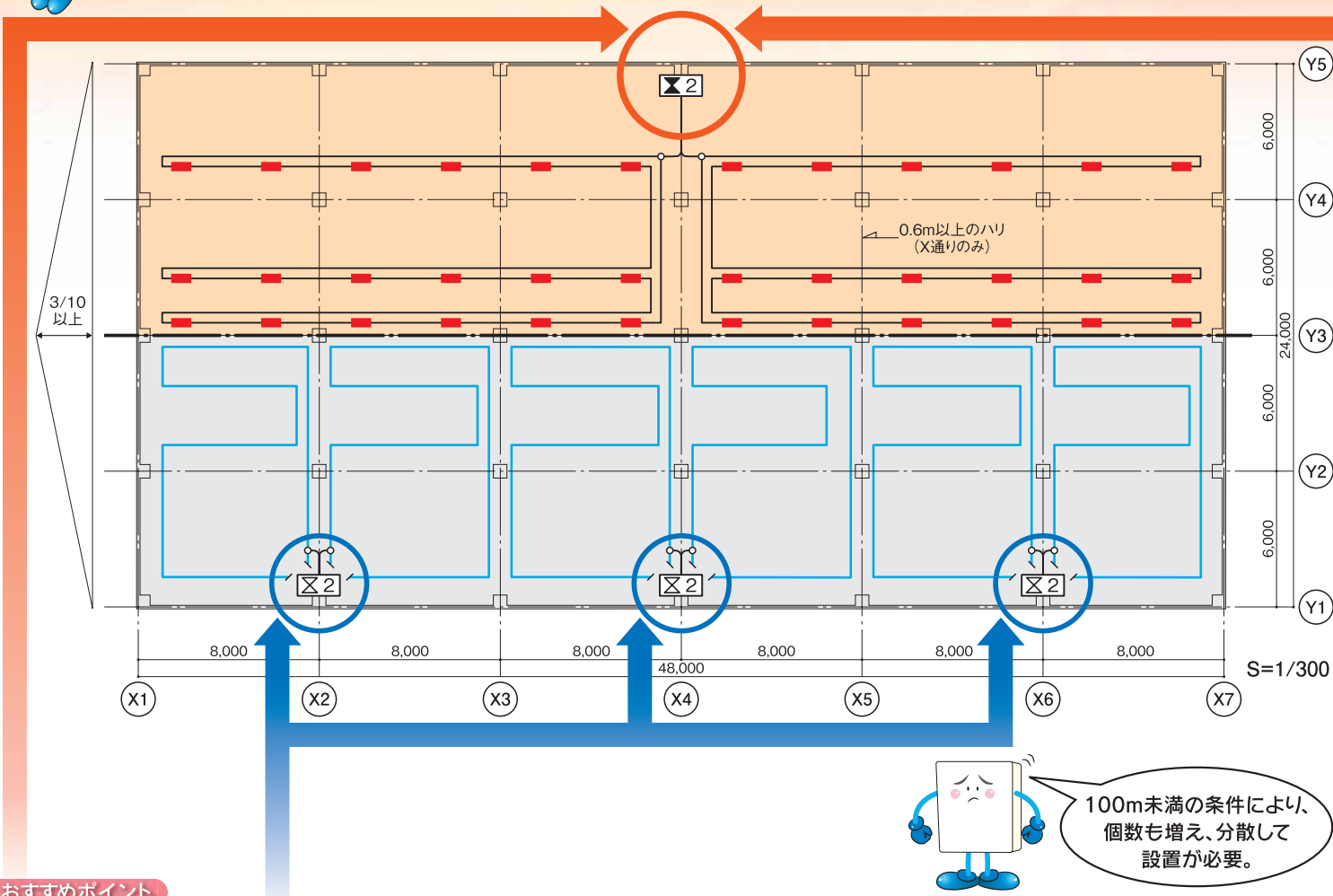


天井裏など点検のしにくい空間に





差動式分布型感知器 熱電対式のおすすめポイント



熱電対式と空気管式の設計比較

■設計条件

- 建物用途：工場(12項イ)
- 建築構造：耐火構造以外
- 天井高さ：10m
- 天井形状：傾斜天井(3/10以上)
- その他：ハリはX通りのみ0.6m以上あり

(注)1: 傾斜天井のため熱電対部と空気管は頂部に密の設置となります。
(注)2: 右図は比較検討用図面です。

- 熱電対設計
- 空気管設計

■凡例

記号	名称	備考
⊗	差動式分布型感知器検出器	2種 熱電対式
—	熱電対	
⊗2	機器収容箱	⊗×2収容 露出型
⊗	差動式分布型感知器検出器	2種 空気管式
—	空気管	
⊗2	機器収容箱	⊗×2収容 露出型
---	警戒区域境界線	

おすすめポイント

2 点検が容易です

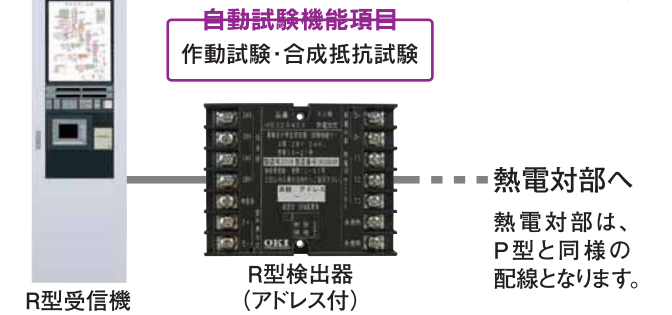
集中設置が可能

.....→ 点検作業が集中して行えます。
検出器1台あたりの全長100mの制限がないことで、検出器の設置箇所も選びません。

容易なメンテナンス

.....→ 点検時間がおさえられます。
専用の「メーターリレー試験器」により、2項目で済み、作業ラインへの影響を最小限におさえることができます。

自動試験機能により、機器トラブルを早期発見します。(R型検出器のみ)



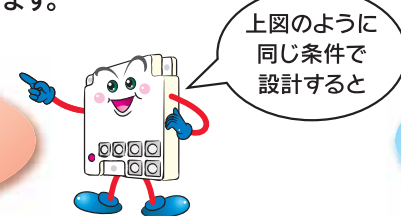
おすすめポイント

1 検出器の個数をおさえることができます※1

熱電対式は、検出器1台あたりの全長100mの制限がなく、検出器までの配線長制限がないので、検出器1台あたりの感知面積に差がでます。

熱電対式

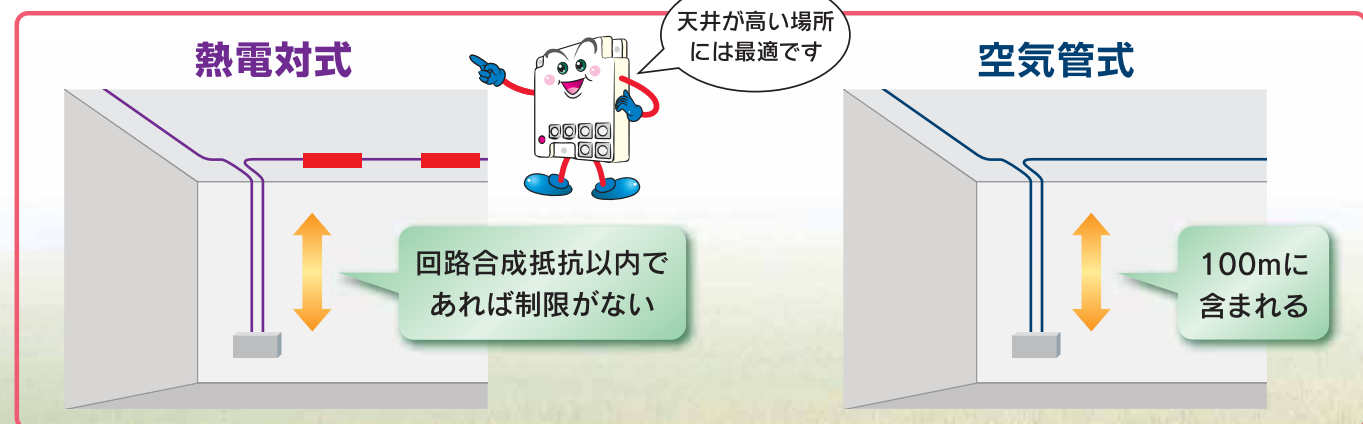
検出器 2個※2



空気管式

検出器 6個※3

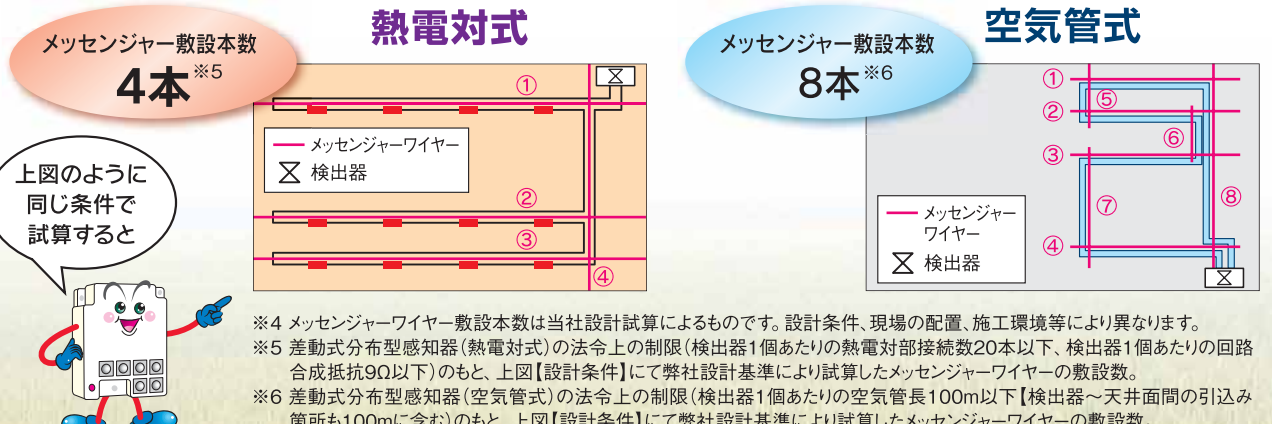
※1 検出器の設置数は設計条件、現場の配置、施工環境等により異なります。
※2 差動式分布型感知器(熱電対式)の法令上の制限(検出器1個あたりの熱電対部接続数20本以下、検出器1個あたりの回路合成抵抗9Ω以下)のもと、上図【設計条件】にて弊社設計基準により試算した検出器の接続個数。
※3 差動式分布型感知器(空気管式)の法令上の制限(検出器1個あたりの空気管長100m以下【検出器～天井面間の引込み箇所も100mに含む】のもと、上図【設計条件】にて弊社設計基準により試算した検出器の接続個数。



おすすめポイント

3 敷設本数をおさえることができます (当社設計試算による)※4

熱電対式は空気管式に比べ、メッセンジャーワイヤーを使用することで敷設本数をおさえることができます。



※4 メッセンジャーワイヤー敷設本数は当社設計試算によるものです。設計条件、現場の配置、施工環境等により異なります。
※5 差動式分布型感知器(熱電対式)の法令上の制限(検出器1個あたりの熱電対部接続数20本以下、検出器1個あたりの回路合成抵抗9Ω以下)のもと、上図【設計条件】にて弊社設計基準により試算したメッセンジャーワイヤーの敷設数。
※6 差動式分布型感知器(空気管式)の法令上の制限(検出器1個あたりの空気管長100m以下【検出器～天井面間の引込み箇所も100mに含む】のもと、上図【設計条件】にて弊社設計基準により試算したメッセンジャーワイヤーの敷設数。